



## 村上 鞆彦氏プロフィール

1979年大分県宇佐市出身。本名・勝彦。1998年、「南風」に入会、鷺谷七菜子、山上樹実雄に師事。2006年、南風賞受賞。2009年、若手アンソロジー『新撰 21』入集。2011年、「南風」編集長。2014年、津川絵理子とともに「南風」主宰に就任（兼編集長）。俳人協会会員。

### 『遅日の岸』（自選15句）

村上 鞆彦

花の上に押し寄せてゐる夜空かな  
鳩は歩み雀は跳ねて草萌ゆる  
投げ出して足速くある暮香かな  
初夏の木々それぞれの名の眩し  
吊革のしづかな華梅雨に入る  
松の影ゆれて松風蟻の道  
振り消してマツチの匂ふ秋の雨  
団栗の青きが握り拳の芯  
秋の雲いくつ流れてシャツ乾く  
曼珠沙華つめたき蕊の絡み合ふ  
枯蟻螂人間をなつかしく見る  
鴨撃つて揺るる日輪水にあり  
灯ともりて窓あらはるる蕪村の忌  
あをぞらをしづかにながす冬木かな  
ガラス戸の遠き夜火事に触れにけり